

竹島をめぐる問題①



1 我が国の立場

●竹島は、歴史的事実に照らしても国際法上も明らかに日本の固有の領土であるという日本の立場は一貫しており、冷静に粘り強く対応していく。

2 最近の韓国政府関係者等(肩書きは当時)による竹島上陸の状況

- ◆2012年
 - 8月10日 李明博(イ・ミョンバク) 大統領
 - 8月19日 孟亨奎(メン・ヒョンキュ) 行政安全部長官、
李秉錫(イ・ビョンソク) 国会副議長他

→我が国は、8月21日、①関係閣僚会合を開催、②国際司法裁判所提訴を提案。

 - 10月23日 劉承ミン(ユ・スンミン) 韓国国会国防委員長、他国防委員計14名
- ◆2013年
 - 6月5日 韓善教(ハン・ソンギョ) セヌリ党議員
 - 8月13日 金ハンギル 民主党代表、他民主党議員計20人
 - 8月14日 金乙東(キム・ウルドン) セヌリ党議員
- ◆2014年
 - 1月29日 慶尚北道知事
- ◆2016年
 - 7月25日 文在寅(ムン・ジェイン) 「共に民主党」前代表(非議員)
 - 8月15日 羅卿ウォン(ナ・ギョンウォン) セヌリ党議員以下
「国会独島訪問団」計10人
- ◆2017年
 - 1月25日 金寛容(キム・グァンヨン) 慶尚北道知事
- ◆2018年
 - 5月23日 沈載権(シム・ジェグオン) 共に民主党議員
 - 10月22日 李燦烈(イ・チャンヨル) 韓国国会教育委員長、他教育委員計13名

→これらの上陸に対し、我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。

3 その他の動き

- ◆2017年10月 韓国海兵隊が「戦略島しょ防衛司令部」創設計画に言及
 - ◆2017年10月 韓国国防委員会による竹島周辺の飛行
 - ◆2017年11月 米韓首脳夕食会において「独島エビ」を提供
 - ◆2018年4月 韓国国会教育文化体育観光委員会による竹島上陸計画(未上陸)
 - ◆2018年4月 南北首脳会談及び晩餐会における竹島を描いた朝鮮半島図の使用
- 我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。

竹島上陸者数の推移
(韓国外交部ホームページ)

年	竹島上陸者数
2005	4万1134人
2006	7万8152人
2007	10万1428人
2008	12万9910人
2009	13万5376人
2010	11万5074人
2011	17万9621人
2012	20万5778人
2013	25万5838人
2014	13万9892人
2015	17万8785人
2016	20万6630人
2017	20万6111人
2018.6(現在)	10万7416人
合計	208万1145人

竹島をめぐる問題②

4 韓国政府が計画中の竹島に関する主な事業(各種報道より)

(1) 海洋科学基地建設計画

韓国海洋研究院が竹島の北北西側 1 kmの海上に大規模な施設建設を計画。2011年に入札が行われ、2012年末に構造物の建設が終了。海上への設置は更に1年ほどかかるとされていたが、2018年7月現在まで、計画は保留されている。

(2) 防波堤事業計画

竹島訪問客の増加による旅客船の安定的な接岸等のために防波堤を拡大する事業。国土海洋部の計画によれば、海水通過が可能な親環境的な防波堤(長さ265m、幅20m)を建設するとともに、波力発電設備、水中観覧室、展望台等を設置するとされている。2011年、国土海洋部は防波堤建設工事事業の実施設計を担当する会社を選定し、本契約を締結した。しかし、2018年7月現在、計画は保留されている。

(3) 現場管理事務所建設計画(入島支援センター)

韓国の地方自治体である慶尚北道が、天然保護区域の毀損防止、訪問客の安全管理、研究調査活動などを支援するために、現場管理事務所の建設を計画(3階建て、480㎡)。2012年末に実施設計を終了し、2013年に着工予定とされた。しかし、2018年7月現在まで、計画は保留されている。

→報道等により確認した場合は、我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。

5 韓国軍による竹島防御訓練

2015年	5/14	韓国軍が竹島防御訓練を実施	11/5	韓国軍が竹島防御訓練を計画
2016年	6/8	韓国軍が竹島防御訓練を実施	12/21	韓国軍が竹島防御訓練を実施
2017年	6/15	韓国軍が竹島防御訓練を実施	12/28	韓国軍が竹島防御訓練を実施
2018年	6/18	韓国軍が竹島防御訓練を実施		



海洋科学基地建設計画
イメージ図(報道資料)



防波堤事業計画
イメージ図(報道資料)



現場管理事務所建設計画
イメージ図(報道資料)

韓国国会議員の竹島上陸

概要等

【報道の概要】（10月22日：連合ニュース）

22日、韓国国会教育委員会の国会議員十数名が、国政監査（注：韓国国会の各委員会による政府機関の活動へのチェック）の一環として、「独島（ママ、以下同じ）」を訪問。イ・チャンヨル同委員会委員長は、「日本の歴史教科書歪曲を糾弾し、正しい歴史認識を高めるために、独島訪問を計画した」と説明。

【我が国の対応】

我が国による事前の抗議・中止の申入れにもかかわらず、上陸が強行されたことは到底受け入れることはできず、極めて遺憾。

10月22日、以下のとおりそれぞれ嚴重に抗議。

- ◆東京 金杉外務省アジア大洋州局長⇒金敬翰（キム・ギョソハン）在京韓国大使館次席公使
- ◆ソウル 水嶋在韓国大次席公使⇒金容吉（キム・ヨンギル）外交部東北アジア局長

※（事前の抗議状況）

10月19日

- ◆東京 田村外務省アジア大洋州局参事官⇒李湖植（イ・ホク）在京韓国大使館公使参事官
長尾外務省北東アジア第一課長⇒呉盛鐸（オ・ソソク）在京韓国大使館参事官

10月18日

- ◆ソウル 村上在韓国大参事官⇒李漢相（イ・ハンソク）外交部東北アジア1課長

10月10日

- ◆東京 長尾外務省北東アジア第一課長⇒呉盛鐸（オ・ソソク）在京韓国大使館参事官
- ◆ソウル 水嶋在韓国大次席公使⇒金容吉（キム・ヨンギル）外交部東北アジア局長
- ◆その他 田村外務省アジア大洋州局参事官⇒崔鳳圭（チェ・ボンギョ）外交部東北アジア局審議官（於：北京）

韓国国会議員の竹島上陸

国会議員団の行動の概要

【参加行事等】

- 教育部及び東北アジア歴史財団からのブリーフィング。（於：ソウル）
（ソウルから鬱陵島までヘリで移動。）
- 10:00 「独島」博物館を訪問。
- 11:30 鬱陵郡庁において、金秉洙(김·병·순)鬱陵島郡守からのブリーフィング。
（鬱陵島から竹島までヘリで移動）
- 14:00頃、竹島に上陸、「独島警備隊」激励等を実施。
（竹島からソウルまでヘリで移動。）

【上陸経路】

- ソウル～鬱陵島～竹島～ソウル。

【上陸手段】

- ソウル地方警察庁航空隊のヘリコプター（Mi-172）。

（※以上は、韓国国内の報道をまとめたもの。）

【参考】Mi-172の性能（出典：ウェブサイト「RUSSIAN HELICOPTERS」）

（用途）多目的ヘリコプター

（巡航速度）260km/h

（航続距離）800km

（搭載可能人員）24名